

令和3年度医療と介護の連携推進研修会を開催します

令和3年9月24日

京都府丹後保健所保健課

(0772-62-4312)

高齢者の方が介護や療養が必要になっても、住み慣れた地域で安心して自分らしく生活を続けられるよう、医療・福祉・行政等が協働して地域包括ケア体制の充実を図っているところです。

この度、丹後地域の病院職員や在宅療養を支える多職種を対象に、下記のとおり研修会を開催することになりました。実践報告や講演を通して、支援者がACP（アドバンス・ケア・プランニング）についての学びを深め、多職種協働による支援の質の向上をめざします。

- 1 日 時 令和3年10月2日（土） 14：00～16：30
- 2 開催方法 Zoom を使用したオンライン開催
- 3 主 催 京都府丹後保健所 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町
- 4 参 加 者 病院・診療所の医師・看護師・地域医療連携室職員
訪問看護ステーション看護師 介護支援専門員 等 約200名
- 5 内 容

テーマ「プロセスあってこそその意思決定支援」

（1）実践報告「最期まで自分らしく生きるを支える ～活動の実際と思い～」

（2）講演

①ACP に関する基本的知識の確認

②ACP 実践のポイント ～伝えることば 本人が語る大切さ～

講師 医療法人久仁会 どうクリニック（京丹後市立弥栄病院 内科医師）

土井 たかし 先生

◆ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは

人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組みのことで、「人生会議」とも呼びます。11月30日を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療・ケアについて考える日としています。

